



夏休み明け

ゆっくりペースで子どもに合わせて

2学期が始まりました。登校する子どもたちの様子を見てみると、学校が始まったのがうれしくて元気いっぱいバスから降りてくる子、夏休み前と変わることなく挨拶をしてくる子、学校に来るのが気が進まなかったのか、うつむき加減に歩いている子、校舎に入れずに玄関あたりで座り込んでいる子、小学部から高等部までいろいろな子どもたちの姿があり、一人一人が様々な思いをもって2学期を迎えたのだなあ、ということを感じました。1か月会わない間に縦にも横にも？成長した子もいました。学校に子どもたちの声が戻ってきたことをうれしく思います。



朝、先生方には、「長い夏休みから学校生活に戻るには、気持ちの面でも身体的にも慣れるのに時間がかかります。一気に学校のリズムに戻すのではなく、ゆっくりとしたペースで子どもたちのリズムを取り戻してください。夏休みの様子なども保護者の方からいろいろ聞いてくださいね。」とお願いしました。

夏休み明けは、新年度が始まる4月と同じで、子どもたちの気持ちが不安定であったり生活のリズムがつかめなかったりします。始業日には時間がなくて担任とじっくり話せなかったかもしれません。心配なこと、お困りになっていることなどがありましたら、遠慮なく担任、学年主任、部主事にお伝えください。一緒になって考えていきたいと思っています。

体育館等の工事が始まり、始業式も全体で行うことができませんでした。「卒業式に間に合うんですか。」という心配の声もいただきましたが、卒業式は、改築した(新築ではありませんが)きれいな体育館で挙げる予定です。玄関前もエレベーター棟設置のため工事期間中は狭くなり、来校された際にも、いろいろなところでご不便をおかけしますが、ご理解ご協力の程、よろしく申し上げます。

